

第4回 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会議事要録

日 時 平成24年3月13日(火) 10時～11時40分

場 所 東京工業大学すずかけ台キャンパス 大学会館 集会室1

出席者 丸山俊夫, 原科幸彦, 辰巳 敬, 坂井悦郎, 中田一博, 室町英治, 北條純一,
川合眞紀, 辻田 修, 澤岡 昭の各委員

所内説明者 林 静雄(応用セラミックス研究所長),
伊藤 満(応用セラミックス研究所副所長),
細野 秀雄(セキュアマテリアル研究センター長),
若井 史博(応用セラミックス研究所 教授)

配付資料

- 別紙1. 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会規程
- 別紙2. 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会委員名簿
- 別紙3. 第3回東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会議事要録(案)
 - 1-1. 平成23年度応用セラミックス研究所教員人事について
(平成23年10月～平成24年4月【予定】)
 - 1-2. 応用セラミックス研究所教員組織(平成24年3月1日現在)
 - 1-3. 指導学生数及びPD(平成18年度～平成23年度)
 - 2-1. 平成23年度応用セラミックス研究所「受託研究」等一覧
 - 2-2. 平成23年度応用セラミックス研究所「民間等との共同研究」受入一覧
 - 2-3. 平成23年度応用セラミックス研究所「その他の機関との共同研究」受入一覧
 - 2-4. 外部資金受入状況について(平成19年度～平成23年度)
 - 3-1. 平成23年度共同利用研究利用者データ及び出張状況について
 - 3-2. 平成24年度共同利用研究申請提出状況
 - 3-3. 平成24年度概算要求事項概要(先端無機材料共同研究拠点の形成)
 - 4-1. ワークショップ・報告会開催状況
 - 4-2. 応用セラミックス研究所講演会開催状況
 - 4-3. セキュアマテリアル研究センター講演会開催状況
 - 4-4. 建築物理研究センター講演会開催状況
 - 5-1. 平成23年度非常勤講師
 - 5-2. 平成23年度学術講演講師
 - 6-1. 応用セラミックス研究所受賞者一覧
 - 6-2. 2011年パブリシティ
 - 6-3. 研究成果が新聞・テレビなどへ取り上げられた件数の推移
 - 7. 応用セラミックス研究所「産業財産権調査表」
 - 8-1. セキュアマテリアル研究センター活動報告(平成23年10月～平成24年3月)
 - 8-2. セキュアマテリアル研究センターNo.3
 - 9. 建築物理研究センター活動報告(平成23年10月～平成24年3月)
 - 10-1. 全国共同利用附置研究所連携事業「特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト」の活動報告
 - 10-2. 平成24年度概算要求事項概要(特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト)

別冊配布資料

- 応用セラミックス研究所活動報告書(要覧)
- NEWS LETTER (No.27)

閲覧資料

- 建築物理研究センター JOINT CONFERENCE PROCEEDINGS Volume 1
- 建築物理研究センター JOINT CONFERENCE PROCEEDINGS Volume 2

定足数の確認

運営委員総数13名、公務欠席3名、定足基準数10名、定足数6名、出席者10名で成立

所長から挨拶

平成23年12月20日付けで就任した林所長より挨拶があった。

議事要録の確認

議長から、前回議事要録（案）について、一部削除したい旨の説明があり、これを承認した。

議 題

1. 教員人事について（下半期）

林所長から、資料1-1～3に基づき、応用セラミックス研究所の10月以降の教員人事、教員組織、学生数等について説明があった後、質疑応答が行われた。

2. 受託研究及び民間等との共同研究等の受入状況について

林所長から、資料2-1～4に基づき、受託研究及び民間等との共同研究、その他外部資金の獲得状況、平成19年度から5年間の推移について説明があった後、質疑応答が行われた。

3. 共同利用・共同研究拠点について

林所長から、資料3-1～3に基づき、平成23年度の共同利用研究利用者データ、共同利用研究申請状況及び、共同利用研究のアンケート結果についての説明、平成24年度の概算要求における運営費交付金の額等について説明があった後、国際交流に関する旅費等と概算要求の平成24年度と平成25年度の予算総額に対する運営費交付金の比率等について意見交換が行われた。

4. 講演会・シンポジウムについて

林所長から、資料4-1～4に基づき、ワークショップ・報告会の開催状況、応用セラミックス研究所・セキュアマテリアル研究センター・建築物理研究センターの講演会開催状況について説明があった。補足として、平成23年度の所長賞を受賞したことにより、竹本喜昭氏が所属の清水建設株式会社から、イメージアップ賞を受賞した旨の報告があった。引き続き、セキュアマテリアル研究センターの講演会について、質疑応答が行われた。

5. 非常勤講師・学術講演講師について

林所長から、資料5-1～2に基づき、平成23年度の非常勤講師及び学術講演講師について、説明・報告があった。

6. 研究成果等の社会広報について

林所長から、資料6-1～3に基づき、教職員・研究員及び学生の受賞状況、研究成果が新聞・テレビなどに取り上げられた件数の平成18年度からの推移について説明・報告があった。

7. 産業財産権について

林所長から、資料7に基づき、学内全体と比較した応用セラミックス研究所の特許出願件数・登録件数・実施料収入について説明・報告の後、細野教授から実施料収入について補足説明があり、質疑応答・意見交換が行われた。

8. セキュアマテリアル研究センター活動報告について

細野センター長から、資料8-1～2に基づき、平成23年度のセキュアマテリアル研究センターの活動内容について説明・報告があり、10年の時限のうち6年が経過しようとしている現在の同センターが抱える人員・予算等に関する問題について説明があった。また、林所長から、同センターが発足した経緯についての補足説明があった後、同センターの継続、今後のあり方並びに任期付きポストの最適な活用方法等について質疑応答・意見交換が行われた。

9. 建築物理研究センター活動報告について

林所長から、資料9に基づき、平成23年度の建築物理研究センターの活動について説明・報告があり、同センターの最も大きな部分を占めるグローバルCOEは今年度が最終年度なので、今度どうするかが緊急の課題であり、現在検討を開始している旨の説明があった後、今後の方向について質疑応答・意見交換が行われた。

10. 全国共同利用附置研究所連携事業「特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト」の活動報告について

若井教授から、資料10-1～2に基づき、平成23年度のプロジェクトの活動報告があり、6年計画の2年目が終了しようとしている所であるが、現在、どのような活動をしているのかについて説明・報告及び平成24年度の概算要求における運営費交付金等の説明があった後、質疑応答・意見交換が行われた。

以 上